



OKAYAMA KORAKUEN
ROTARY CLUB

No.130

2019-2020年度 第4号

Rotary connects the world

ロータリーは世界をつなぐ



赤木会長方針「輝こう」～奉仕と親睦に努め、ロータリアンとして一人ひとりが輝こう～

岡山後楽園ロータリークラブ

事務局

〒700-0923 岡山市北区大元駅前3-57 TEL: 086-238-5133 FAX: 086-238-5155



私の家族はみんな相撲好きです。

今年はコロナ騒動で無観客試合のこともありました。最近の相撲は見ていて面白いです。

娘夫婦が招待してくれて国技館に行った時のスケッチです。桄席は年寄りには少しつらいですが、すごい迫力があります。

今年度も拙いスケッチをご覧いただきありがとうございました。もうそろそろネタ切れです。

大角 雄三

会長退任あいさつ ～未曾有の事態の中で～

会長 赤木 匠

昨年7月会長に就任したとき、新型コロナウイルスの蔓延と相次ぐロータリー活動の中止という、いまだかつて経験したことのない異常な事態に遭遇するとは思っていませんでした。年度の前半は、各種行事も順調に運び、このまま続けば今年度はだいたい終わったようなものだと思っていました。

2月に入ってから、中国で発生した新型コロナウイルスの感染が、日本でも広がり始めました。わがクラブでも宝塚観劇の中止をはじめ、コロナの影響が現れだし、3月には2回の例会中止を余儀なくされました。

4月になると岡山県にも非常事態宣言が発令され、4月第2週から、非常事態宣言が解除された後の5月第2週まで例会を中止しました。その間、会員相互のきずなを保つため「週報番外編」の発行をはじめ、社会貢献活動として医療・福祉施設へマスクの寄贈を行いました。再開しても、コロナ感染の危険性は依然として残っているため、感染防止対策を講じたうえでの例会開催となり、オンライン拡大親睦活動委員会の開催も始まりました。

会長としてのこの1年は、3分の1がコロナに振り回された時期で、多くの行事が取りやめになりました。その中で、目標に掲げた会員5名増は達成できなかったものの、女性会員の入会が実現できたことは、画期的なことと思っています。これも、多くの会員の皆さまのご協力の賜と感謝を申し上げます。

1年間大変お世話になりました。



災い転じて 福となすクラブ活動に!

藤本 隆志 会員

世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。人類の敵との闘い、それは人類の結束の強さの評価でもあります。

いかに他人を思いやる気持ちがあるか、いかに弱い立場の人を支援してゆく気持ちがあるか、それが試されているのでしょう。

ロータリークラブは、人間同志の奉仕の輪です。クラブ活動を今後も活発に行って、コミュニケーションを図り、お互いに理解しあえばこの難題を乗り越えることができるでしょう。

岡山後楽園ロータリークラブの活動もいくつかのイベントが中止になりましたが、この経験を糧にして、初心に戻った素晴らしい活動に皆で取り組んで行けたらと思っています。

幹事退任挨拶

幹事 藤原 學

丸山前会長よりお話があり、「赤木会長候補から幹事のご指名があった」とお聞きしたときは、果たして私に務まるのか不安ばかりでした。が任期を終えた今は、肩の荷が下ろせてホッとしたのと、お役を受けて良かったなあーという気持ちでいっぱいです。

前年度の副幹事から約2年、岡山後楽園ロータリークラブが中心の日々でした。当クラブの役員および理事決め、地区補助金事業、地区大会参加等の行事はもちろん、今年度は何といても“見えない敵”の新型コロナウイルス対策に追われました。そこから県南17ロータリークラブの幹事の輪が密になり親睦も深まりました。この2年間はどれだけ多くの人とつながったのか、還暦を迎えまだまだ人生勉強させてもらうことばかりでした。

その中でも地区補助金事業は特に忘れられません。東京に何度も連絡を取り日程を詰めていくにつれ心が

繋がっていきました。講師にお招きしたお二人とは近しくお話ができ、私の個人的な望みも語らせてもらえました。高畑メンタルトレーナーにはこれを機に、引き続き岡山県の高校球児を応援していただきたかったので玉野光南高校と岡山南高校を紹介できました。

儀打の世界記録を持つ川相元巨人軍2軍監督には、星野仙一さんのあと協力いただけるよう旭川荘との橋渡しをすることでした。後日川相氏から「私でよろしければ是非」とお返事をいただくことができました。こちらは今後は岡山後楽園ロータリークラブでバックアップしていただけたらと切に願っております。

本当に公私ともに充実した2年間でした。ありがとうございました。



新型コロナウイルス対応下のクラブ運営の記録

幹事 藤原 學

本年度は後期に入ってから新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、幾度も例会を取りやめにいたしました。しかしながらここに至るまではもちろん、例会休止の期間も赤木会長との打合せは毎週水曜日に事務局で、県南17RCの幹事ラインでの情報も参考にしながら進めて参りました。そして岡山後楽園RCでは以下の形で実行いたしました。会員の皆さまにもご協力ご理解ありがとうございました。

ロータリー活動の空白時間もありましたが、クラブ運営は動いていきますので、いつの日か全員でまた手をつなぐことができる日が、1日でも早く来ることを楽しみに待っています。



① Zoomの導入・試行でオンラインミーティング

- ビジョン委員会
- 拡大親睦活動委員会
- 飲み会

② ホテルの広い会場でスクール形式の例会

③ 会場入り口で手指のアルコール消毒、マスク着用、体温測定をチェック

④ 会員の皆さまとつながる、会長による週報番外編のスピーディーな発行

番外編

昨年度の地区補助金活動で呼びした高畑トレーナーが5月に参加校の一つ岡山南高校で、オンラインによるメンタルトレーニング授業を引き続きしてくださいました。

これは、甲子園大会がなくなった今年の3年生部員が対象でした。最後にキャプテンが涙を流しながら「甲子園はどんなところでしたか」と、私に聞くので40数年前の事ではありましたが、私の思うところを話させてもらいました。



会場監督(S.A.A)の任務についてRIの資料によりますと、Sergeant-at-Armsは中世ヨーロッパの宮廷で、外国の賓客を招いたレセプションが開かれる場合、その場を取り仕切る役職を模したものであり、例会場の秩序を保つ重要な役職です。

例会場における最高の権限を持つ執行機関の役職を伴っており、例会場の管理者であることから、会長経験者およびロータリアンとしての経験が深い会員より任命されることが望ましいとされています。

右に示すとおりのことを基本とし、これだけの責任のある立場であることを心に秘めて1年間運営してまいりました。新型コロナウイルスの対応で例会が中止されることもありましたが、会員の皆さまの多大なるご協力により例会がその使命を発揮することができました。

1年間ありがとうございました。

具体的な職務内容

1. 例会場の司会進行
2. 例会場への入場、退場許可、開門、閉門
3. 早退、遅刻の承認、拒否
4. 私語に対する警告
5. 卓話の時間励行
6. 例会場の秩序を乱す行為(警告退場)
7. 会場の設営(他の委員会と共に)

出席委員会の1年を振り返って

出席委員長 國貞 繁樹

2019-20年度出席委員長の國貞です。

出席委員長を退任するにあたり、一言感謝の言葉を述べたいと思います。

1. 例会日は例会開始30分前頃に会場に到着する。
2. 最終確認として、名簿箱によるチェックを行う。
3. 出席表に必要事項を記入した出席報告を行い事務局に提出する。

私が出席委員長として心がけていたことは、例会出席者の確認のために次の3点を把握するということです。

間違いのない出席者を把握することは、出席委員長として何より大事なことだと思います。

そして、ホームクラブ100%、メイクアップ後100%出席会員に対して1年間の労をねぎらうために表彰したいと思います。

会員の皆さまには、この1年大変お世話になり、ありがとうございました。

プログラム委員会の1年を振り返って

プログラム委員長 小坂 和也

この1年を振り返ると、「プログラム委員長」の内示があった時から、誰に卓話をお願いしようか、その事ばかり考えていたような気がします。当初は、とても遣り甲斐があり、自分の人脈をフル活用すれば、さほど人選には困まいと、考えていました。

また「岡山で活躍している女性を、卓話講師に招く」と、大風呂敷を広げた為、交渉相手は、女性に限定されました。この事が、結果的に自分の首を絞めてしまいました。最初は、順調に、招聘できました。元局アナウンサー・ヨ

ガイストラクター・婚活コンサルタント・ベリーダンス主宰者・留学生の母・管理栄養士・チーズプロフェッショナルと、華やかな人選で、ルックスも含め、会員の皆様に楽しんでいただけたと自負しています。

しかし、この裏では、多くの女性に断られました。こんなに女性にふられたのは、初めてです。後半は、締め切りに追われ、また例会中止という予想外の事も発生して、バタバタの1年でした。

楽しかったけど、落ち着かない「プログラム委員長」でした。



2019-20年度親睦活動委員長を終えて

親睦活動委員長 古和 聡

1年間親睦活動委員長として、会員の皆さまには大変お世話になりました。拡大親睦活動委員会は、後半コロナウイルス感染拡大予防で自粛しつつも、藤原幹事から薦めていただいたオンラインが救世主となり、なんとか7回開催することができました。Zoomミーティングはややこしいのではなかろうかと正直不安でしたが、リハーサルもやったおかげで、無事に参加の皆さんと何度もリモート乾杯できました。参加していただいた荒木さんの背景にあった並んであるたくさんのお酒に関心を持ったのは私だけでしょうか？森谷さんの卓球場が見えたり予想以上に楽しかったです。ご参加くださいました会員および親睦活動委員の皆さまありがとうございます。

今年度後半はあらゆる行事が中止となりましたが、親睦活動委員会の一大イベント、クリスマス家族会は会

長、幹事のお力添えと会員の皆さまご協力のもと、楽しく盛り上がり開催できたことに感謝いたします。

次年度も皆さまと親睦を深めながら、ロータリー活動を頑張っていきたいと思います。



会員増強委員会の一年間を振り返って

会員増強委員長 福島 正春

赤木会長は、本年度の最重要課題のひとつに、女性会員の入会を是非とも実現し、女性も含め会員増強5名を目ざす、と言われました。また地区目標は、会員2名の純増と女性会員の積極的増強を上げていました。

今年度、赤島耕一路会員（推薦者：赤木会員・末光会員 R1年8月8日入会）と青木三恵子会員（推薦者：松井会員・赤木会員 R2年1月9日入会）の2名が入会されました。お二人には、これからもロータリー活動に積極的に参加され、楽しんでくださいますようお願いいたします。特に



青木会員は、女性会員第1号であります。創立以来31年余におよぶ当クラブにとっては、画期的なことであります。

新会員にとっては、ロータリーに戸惑うことがあるでしょう。会員満足度アンケート（本年度実施）にもあるように、例会時での新会員の対応には、会員の皆さまが隣席するなど配慮し、全員でサポートしていきましょう。

次に、良かったことは、会員増強委員会を定期的（6/21の新旧合同、7/29、10/2の3回）に開催し、入会候補者情報ファイルを見直して活動計画を設定し、会長・幹事・会員増強委員・会員が、確実に勧誘行動をしたことであります。

年度後半は、新型コロナウイルスの影響で、会員増強活動ができなかったのは非常に残念です。次年度は、上記ファイルを引き続き活用していただいて入会候補者の情報を共有し、新型コロナウイルスに注意しながらも、全会員で更なる会員増強活動をお願いいたします！

研修・育成委員会の一年間を振り返って

研修・育成委員長 深井 豊久

先ずは2019年7月4日に新会員の赤島会員、2020年1月に女性会員第一号となられた青木会員に、ロータリーの歴史、ロータリアンの使命、自覚、三大義務、奉仕活動、職業奉仕等詳しく説明をさせて頂きました。

2月27日アークホテル岡山にて21名の参加で拡大親睦活動委員会と合同で第一回ファイヤーサイドミーティングを開催し、入会3年未満の会員3名からご意見をいただき、新会員のフォローが大切であることを、改めて認識させられました。

古参会員からは、スマイル、小銭ボックス、親睦会費等々の忌憚の意見をいただきました。次年度に申し送り事項として伝達しておきます。

3月にはメイクアップツアーで岡山西RCを訪問する予定でしたが、新型コロナウイルス問題で延期になり残念です。またの機会にしましょう。

一年間有難うございました。

友愛の広場用にクラブ紹介パネルを制作した事くらいしか実績が無いまま年度末を迎えてしまいました。アピールする事が苦手で伝手も持たない前世紀型委員長でしたが、幹事が見事にカバーして下さり大過なく終えようとしています。

ただ、それでは委員会として“爪痕を残す”事ができませんので、My Rotaryの公共イメージ委員会編から下記の文章を紹介します。どうやらロータリアンは自分たちを下記の如く説明して胸を張れば良いようです。

すなわち「世界は今日、紛争や病気、水・医療・教育・雇用機会の欠如などの根強い問題に直面しています。ロータリー会員は、地域社会が抱える問題への解決策を考え、地元のリーダーや専門家とともに最後まで責任をもって行動します。ロータリーは、世界中の異なる国、文化、職業、経験をもつ120万人の会員からなるネットワークです」と。

年度末になって今さらですが、委員長の責務として上記の文章を丸暗記したく思います！

ちっぽけな人間だけど…

奉仕プロジェクト委員長 丸山 夏樹

本年度上期は、補助金活動委員会と青少年奉仕委員会との連携による地区補助金事業を始め、各委員会のご尽力により順調に進んで参りました。しかし、新型コロナウイルスの影響を受け、3月以降の奉仕活動は、残念ながら計画通りには遂行できませんでした。

目に見えない未知の敵の前に人間の無力さ、人と人との交わりによる所が大きいロータリー活動の難しさを痛感することになったのです。

本年度開催できなかった奉仕活動の中で、つばさコンサートテーマ曲「勇気をもって」の『僕たちはちっぽけな人間だけど 立ち止まり迷いながら 走り続けるだろう』という1節がふと心に浮かびました。

私たちの奉仕活動はこれからも続きます。ちっぽけな私たちではありますが、コロナに負けず、出来ることをしっかりやって、皆さんと一緒に元気に走り続けたいと思います。



ロータリー財団委員長として本年度を振り返って

ロータリー財団委員長 芝田 堅志

今期、ロータリー財団委員長を拝命しました。同委員会は、他の4委員会と異なって、何かを「表現」したり、形を「残」したりする委員会ではないので、委員長として何をしたら良いかを先ず考えました。出雲市で開催された「ロータリー財団セミナー」に出席し、骨子(アウトライン)を把握することに努めました。出席してわかった事は、各クラブの参加の方々も全ての方が内容をわかっている訳ではない(失礼!)という事で安心感を得る事が出来、モチベーションの維持とUPに役立ちました。

ロータリー財団委員会は、前任の宮崎委員長の帰納法的名言、「ロータリー財団委員会は、“集金”する委員会である。」の将にその通りだと思いました。私の仕事は、それにもとづき、

を広報する事と考え、ロータリー財団の広報、理解に努めました。

ロータリー財団は寄付で成り立っています。そしてロータリー財団への寄付は社会還元の仕組みの一環で、ロータリーに参加していればこそできる社会貢献です。

現在、寄付者名、金額を公表していますが、金額、回数の多少は禁句だと思います。何故なら、他、地域社会等で違った形で社会貢献されておられる方も多数いらっしゃいます。ロータリー財団委員長としては、今後も少しのお志をご寄付お願いいたしますと申し上げますと同時に、今期もたくさんのご寄付、ご協力をいただきました皆さまに、感謝とお礼を申し上げ筆をおきます。

- ① ロータリー財団とは何か？
- ② 財団って何をしているの？
- ③ 我々ロータリアンは何をしたらよいのか？



例会プログラム

4月	
2日	よもやま話シリーズ(5) 3・4月生まれの会員
9日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止め
16日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止め
23日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止め
30日	取り止め

5月	
7日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止め
14日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止め
21日	Zoomを利用したオンラインミーティング導入について 藤わら塾 塾長 藤原 雄徳様
28日	オーラルフレイルと認知症介護予防2 池上 孝会員

6月	
4日	よもやま話シリーズ(6) 5・6月生まれの会員
11日	退任挨拶 各委員長
18日	退任挨拶 役員・理事
25日	退任挨拶 会長・幹事

行事記録

4月	
2日	第15回理事会 アークホテル岡山
2日	2020-21年度第4回理事会 アークホテル岡山
2日	2020-21年度第1回クラブ協議会 アークホテル岡山
14日	県南17RC幹事会 ホテルグランヴィア岡山

5月	
7日	第16回理事会 アークホテル岡山
14日	2019-20新旧2020-21年度 合同クラブ協議会 アークホテル岡山
21日	2020-21年度第5回理事会 アークホテル岡山
28日	第6回拡大親睦活動委員会 オンライン

6月	
4日	第17回理事会 アークホテル岡山
11日	2020-21年度第6回理事会 アークホテル岡山
11日	第5回会員増強委員会 オンライン
18日	第2回IM実行委員会 アークホテル岡山
18日	第7回拡大親睦活動委員会 オンライン
22日	県南17RC幹事・次期幹事会 ANAクラウンプラザホテル岡山
25日	第8回臨時理事会 アークホテル岡山
25日	親睦活動委員会新旧引継ぎ会 アークホテル岡山
27日	第3回合同IM協議会 オンライン



2019-2020年度
会長 赤城 匠
幹事 藤原 學
退任の花束贈呈



王 丹彤さんへ支援金をお渡ししました



前年度の丸山会長より
会長 赤木 匠、幹事 藤原 學に
記念品をお渡ししました



例会の再開初回はzoomを利用した
オンラインミーティング導入についての卓話
藤原幹事のご子息次男さん

編集後記…クラブ会報委員長 高原 弘海…

会員の皆様のご協力により、通算130号となるクラブ会報をお手許にお届けすることができましたことに心より御礼申し上げます。ご承知のとおり、わがロータリークラブにおいても、新型コロナ感染拡大防止のため、例会の取り止め、各種行事の延期・中止などの対応を講じてきました。本号では、新型コロナ禍でのご苦労も含め、各委員長の皆さまに赤木・藤原年度の振り返りをご執筆いただくとともに、新型コロナへの取組みを記録に残しておく意味も含めて、藤原幹事に特番記事をご執筆いただきました。

コロナウイルスとの戦い(長い目で見ると共生でしょうか)は長期戦になりそうですが、本号を片手に、「あの時、あの年は」と語らいながら、一献酌み交わせる日が早く来ることを祈念しています。